

令和8年度松本市アルプスエリア 地域おこし協力隊 募集要項
～「コンセプトブック」を創り、地域の営みを守り継ぐ協力隊を募集します～



“暮らしを守る”が観光になる

今回募集する地域おこし協力隊には、地域の暮らしや景観保全活動を実際に体験しながら、その魅力や人々の想いを言葉や写真で発信していただきます。3年間をかけて一冊のコンセプトブックをつくり、乗鞍をはじめとするアルプスエリアの自然や暮らしに共感し、「この地域と関わってみたい」と思う仲間を増やしていくことがミッションです。

あなたの手で、アルプスエリアの未来を支える仲間を集めませんか。

1 募集人員

1 名

2 募集条件

(1) 共通事項

・ 3大都市圏の都市地域又は政令指定都市に生活の拠点があり、任用の日以降、松本市に生活の拠点を移し、住民票を異動する者

※ 3大都市圏とは埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県及び奈良県の区域の全部

・ 9月12日（土曜日）から9月14日（月曜日）の「おためし地域おこし協力隊」体験プログラム（最終選考を兼ねる）の全日程に参加できる者

・ 活動期間終了後、松本市で就業又は起業して定住する意欲のある者

(2) 必須スキル&向いているスキル

・ 普通自動車運転免許（必須）

・ Word、Excel、PowerPoint 等の基本的なパソコン操作技能

・ 山や自然、アウトドアが好き ・ 体を動かすことが好き（現場での保全活動などがあるため）

・ 文章を書くことが好き（ライター経験がなくても可）

・ 人との触れ合いや、人の話をじっくり聴くことが好き

(3) 歓迎要件

・ 写真を撮ることが好き

・ 植物や木が好き

3 活動内容（ミッション）

【3年間の活動イメージ】

アルプスエリアをフィールドに、特に乗鞍地域を中心として、地域に根を下ろし、人とのつながりを育みながら、3年間をかけて一冊の「コンセプトブック」を制作していただきます。

このコンセプトブックは、乗鞍で暮らす人々の想いや日々の営み、その背景にある物語を伝え、「この地域と関わってみたい」と共感してくれる仲間を増やすための一冊です。

【1年目】地域を知り、地域に伝える

— インナーコミュニケーション —

まずは地域の一員になることから始めます。

登山道整備や景観保全活動、地域行事などに参加しながら、乗鞍で暮らす人たちと一緒に汗を流し、地域の歴史や文化、暮らしを体感してください。

新しい土地での暮らしは不安もあると思いますが、日々の活動を通して自然と地域とのつながりが生まれていきます。

また、活動を通じて感じたことや地域の魅力を「地域新聞」などの紙媒体にまとめ、住

民の皆さんへ届けていただきます。

この地域新聞は、地域への情報発信であると同時に、あなた自身を知ってもらうための自己紹介でもあります。

文章を書くことや写真撮影など、発信に必要なスキルを身につけたい場合は、研修への参加も可能です。活動費を活用できますので、気軽に相談してください。

【2年目】地域の魅力を外へ届ける

— アウターコミュニケーション —

1年目で培った視点や地域との関係性を活かし、発信の対象を地域の外へ広げます。

■市地域の営みを発信する

登山道整備や一の瀬草原の再生活動、その背景にある暮らしや人々の想いを、noteやInstagramなどで月1~2本程度発信していただきます。「何を守っているのか」だけではなく、「なぜ守り続けているのか」が伝わる発信を目指します。

■地域と外の人をつなぐ

発信をきっかけに興味を持ってくれた人たちが、実際に地域と関われる機会をつくりま

す。
新しいイベントを一から企画するのではなく、一の瀬草原の景観再生活動や外来植物の駆除など、既存の地域活動に企業や大学、地域外の方が参加できる仕組みづくりを行います。（目安：年1~2回程度）

【3年目】コンセプトブックを完成させる

— アクション —

3年間で出会った人々や風景、地域に息づく営みや歴史。

その一つひとつを丁寧につなぎ合わせ、「乗鞍とはどんな地域なのか」を一冊のコンセプトブックとして形にします。

2年目までの取材や情報発信を続けながら、外部のデザイナーや編集者など専門人材とも協働し、地域の魅力や想いが伝わる冊子を制作していただきます。

完成したコンセプトブックは、地域の財産であると同時に、未来の住民や地域おこし協力隊、関係人口へ向けたメッセージにもなります。

※主な活動フィールドは乗鞍エリアですが、アルプスエリア全体の魅力向上や地域課題の解決に向けた取組にも、必要に応じて携わっていただきます。

4 報酬・福利厚生等

(1) 報償費（給与）

ア 年額1,749,600円（消費税及び地方消費税含む）

※1年目は6ヵ月分（令和8年10月1日採用の場合）の報償費となっています。2、3年目は年額3,499,200円（消費税及び地方消費税含む）となります。

イ 年間の報償費を6で除した金額を1月ごとに支払う（令和8年10月1日採用の場合）

ウ 年の途中での採用の場合、報償費は月割り（及び日割り）で計算した額とする

(2) 活動費

報償費とは別で、利用実績に応じて以下の活動費を支給する。

※最大で年額2,000,000円

- ・研修受講に要する旅費
- ・消耗品の購入に要する経費
- ・車両に要する経費（車両借上料・燃料費）
- ・備品に要する経費（ノートパソコン借上料）
- ・住居の家賃

(3) 隊員の個人負担

- ・光熱水費
- ・引っ越しに必要な経費
- ・活動期間中の生活費に必要な消耗品等

※住居に関しては、市営住宅の斡旋や移住相談などサポートをさせていただきます。

(4) 副業の取り扱い

市との雇用関係はないため、委託業務以外に収入を得ることは妨げない。ただし、委託業務遂行の支障にならない範囲での行動をお願いします。

(5) 保険等の加入

国民健康保険及び国民年金については、隊員各自で加入することが必要

5 勤務時間・休暇等

勤務日は月14日以上、勤務時間は月118時間

業務委託のため、市から示した事業を推進できるようご自身でマネジメントすること

※隊員には月1回、活動場所、時間、内容等を含めた活動計画及び報告を行っていただく

※長期休暇については担当者と相談すること

6 形態・期間

(1) 松本市と業務委託契約を締結

(2) 採用時期は、相談のうえ10月中をめどに決定する

(3) 年度毎の委託契約とし、活動状況により再委託の可否を判断する（最大、採用から3年間）

例：令和8年10月1日契約開始の場合、最大で令和11年9月31日まで

(4) 委託期間満了前に契約解除する場合、30日前までに申し出ること

(5) 隊員としてふさわしくない行為があった場合は委託契約を解除することとする

7 勤務地

大野川区町会事務所 他（松本市安曇3992-1）

※業務に支障のない範囲でのリモートワークを可とする

8 オンライン説明会の開催

応募を検討している方に向けて、求めている人物像や職場環境、ミッションの説明のため、以下の日程でZoomによるオンライン説明会を実施します。

※出席は、3大都市圏の都市地域又は政令指定都市に生活の拠点がある方に限ります。

8月18日（火曜日） 午後7時～

※下記QRコードから申込

※申込期限：8月17日（月曜日）24時まで



9 応募手続き

(1) 申込フォームにて応募



(2) 申込期限

令和8年8月31日（月曜日）

(3) 募集内容に関する問い合わせ

〒390-1592 長野県松本市総合戦略局アルプスリゾート整備本部

担当：奥原、小暮、秋葉

電話：0263-94-2307

メール：alpsresort@city.matsumoto.lg.jp

※原則メールにて問い合わせいただくようお願いします。

10 任用までのスケジュール

(1) 募集期間

令和8年7月24日（金曜日）～8月31日（月曜日）

(2) 第一次選考（書類選考＋面談）

9月4日（金曜日）までの間で随時実施（オンライン）

- (3) 最終選考（おためし協力隊＋最終面接）
9月12日（土曜日）～14日（月曜日） ※最終面接は14日に実施
- (4) 任用決定
9月16日（水曜日）予定
※日程は変更する可能性があります
- (5) 任用開始
10月～11月をめぐり、採用候補者の都合を踏まえたうえで決定する

11 選考

※下記（1）から（3）までの選考方法を十分ご理解いただき、申込みください。

- (1) 第1次選考（書類選考＋面談）
申請フォームの確認及び面談による選考の上、選考結果をメールで通知します。
- (2) 「おためし地域おこし協力隊」体験プログラム 兼 最終選考
令和8年9月12日（土曜日）から9月14日（月曜日）までの3日間で、応募者・採用者の双方のミスマッチを防ぐため、「おためし地域おこし協力隊」体験プログラムを実施します。この体験プログラムは、最終選考を兼ねますので、第1次選考合格者は必ず参加していただきます。応募時にご予定をお願いします。
- (3) 最終選考
(2)の「おためし地域おこし協力隊」体験プログラム全体及び最終日の面接を最終選考とします。

※選考基準に達しない場合は期間を改め、再度募集を行います。

12 選考結果

最終選考の受験者全員に選考結果（合否）については、令和8年9月中旬にメールおよび文書にて通知します。

※第1次・最終選考の経過及び結果についての問い合わせには応じられませんので、予めご了承ください。

※住民票の異動は、合格通知の到着後に行ってください。それ以前に住所を異動させると、応募対象者でなくなり、採用取消しとなる場合があります。

13 付録

【募集の背景】

上高地が「圧倒的な手付かずの自然そのもの」で人を惹きつける場所だとしたら、乗鞍は「自然と人の豊かな営みが共生する」ことで価値を生み出してきた場所です。美しく広がる一の瀬草原や、歩きやすい登山道や遊歩道。これらは決して手付かずの自然ではありません。先人たちがこの地で気持ちよく暮らし、生計を立てるために、長い時間をかけて手を入れ、大切に守り抜いてきた「営みの結晶」です。

乗鞍の美しい風景は、この「日々の手入れ」があるからこそ保たれています。もし、

暮らしの維持（手入れ）が止まってしまえば、景色はすぐに森へと還り、観光資源そのものも消滅してしまうでしょう。乗鞍では、古くからの住民も新たに移り住んだ人も、その多くが観光に携わっており、同時にこの土地を愛し、守るプレイヤーです。そのため、この地域において「地域づくり（自分たちの住む場所を綺麗にし、毎日を楽しく暮らすこと）」は、「観光づくり（魅力的な場所を作ること）」と同義です。

乗鞍の真髄は、
まさに『暮らし』と『観光』が美しく循環している」こと。

【観光 ➡ 暮らし】観光で得た恩恵が住民の生活を豊かにし、地域の行事や景観保全に再投資される。

【暮らし ➡ 観光】そして、豊かな誇りを持った住民の暮らしぶりが、訪れる人に心地よい空気感として伝わる。

『住民自身が自分の暮らしを楽しんでいない場所に、本当に良い場所は生まれません』

私たちはこれからも、この乗鞍ならではの「持続可能な暮らしと観光」の美しいサイクルを、誇りを持って紡いでいきます。

乗鞍の地域力を今後さらに維持・強化していくためには、今の住民たちと同じように「この地域を維持し、共に豊かになろうとする仲間」の存在が不可欠です。

今回募集する地域おこし協力隊のミッションは、アルプスエリアの中でも特に乗鞍地域を舞台に、観光を支える裏側にある「自然豊かな乗鞍のリアルな暮らし」を自ら体験し、言葉や写真に残すことです。そして、この体験をまとめたコンセプトブックを通じて、外の人と乗鞍を繋ぐ『関わりしろ』を描き出し、共に地域を創る仲間を増やしていただきたいと考えています。